

海洋保護区管理アライアンス

海洋保護区（MPA）の効果的な管理を強化するため、既存の取組を調整し、活用するという共通の目標

我々は、世界最大かつ最も多様な海域の一部を管理していることを認識し、海洋保護区（MPA）の管理の有効性を高め、資金調達、モニタリング、監視、ガバナンス、イノベーションに関連する MPA 管理上の共通の課題や機会に取り組み、これらが我々の共通の関心であることを確認する。

我々は、MPA の質的な管理を強化すること、それによって海洋の保全と持続可能な利用への我々のコミットメントに貢献することの重要性を強調する。MPA が効果的に管理され、順応力があり、連結性があり、十分な資源が確保されていることは、その環境的・社会的・経済的な便益を最大限に引き出すために必要不可欠である。

多様なガバナンス及び資金調達モデルに関する長年の経験、並びに強力な科学的、技術的、制度的、普及能力を基盤として、我々は G7 各国及びパートナー間における協力と知識共有の強化の価値を強調する。フランスが G7 議長国である 2026 年中の会合でなされた議論では、MPA 管理に関する経験共有のフォーラムの設立が、地方、地域及び地球規模での効果的な MPA 管理のための課題、教訓、優良事例及び機会に関する共通理解を提供する上で有用であることが強調された。これは、MPA に関する社会経済開発を支えつつ環境保護を達成するため、利用可能な最良の科学的証拠に基づいた効果的な管理アプローチを特定することにさらに寄与するものである。また、この取組は、公的機関やその他のパートナー及びステークホルダーが、関連する国内及び国際的な枠組みを実施する上での取組にも寄与するものである。

こうした文脈において、我々は、MPA の実施と管理の有効性及び便益をさらに高めるための 5 つの主要な構造的機会を特定する：

- MPA に関する革新的かつ持続的な資金調達の促進；
- 堅固かつ長期的な科学的モニタリングの支援；
- 監視及び執行能力の強化；
- 科学関係者や民間セクターを含む、すべてのステークホルダー及びパートナーの参画に依拠した、革新的かつ成功したガバナンスモデルの共有；

- MPA 管理における革新的で環境面で健全なアプローチと技術の支援。

我々は、MPA 管理当局と、他のレベルの政府、地方機関、学术界及び民間セクター、先住民、地域社会並びに市民社会を含む関連ステークホルダーやパートナーとの間で、協力や優良事例及び教訓の共有を行うことが、これらの機会について共に前進し、効果的な管理とツールを促進するために重要であると認識する。

MPA 管理アライアンスの発足

この共通の目標に向けて、我々は「**MPA 管理アライアンス**」を設立する。これは、効果的な MPA 管理に向けた共通の取組を強化することを目的とした、協力を強化するための枠組みである。本アライアンスを通じて、前述の 5 つの機会に対して共同で取り組んでいくために、我々は長期的な協力アプローチを追求する。本アライアンスは、以下の指針に基づき運営される。

第一に、我々は、これまでの経験を活かし、G7 各国並びにこの分野に専門知識を有する地域機関を含む他のパートナー、イニシアティブ、枠組み及び組織による貢献から学ぶことで、MPA 管理に関する優良事例や革新的な取組の共有を強化する。

第二に、我々は、MPA 管理を支援する官民パートナーシップを特に通じて、新技術や民間セクターの参画の強化に向けた取組を推進していくことを決意する。G7「海洋の未来イニシアティブ (FSOI)」の枠組み内を含め、海洋に関する様々な科学的研究を基盤として、先進的な観測・監視技術の活用を推進する。また、資源を動員し、革新的な資金調達アプローチを促進するため、民間セクターの慈善団体や投資家等との連携を図る。

第三に、効果的な MPA 管理の認知度を高め、積極的なアウトリーチ活動を通じて本アライアンスの活動を推進する。本アライアンスは、取組の重複を避けつつ、MPA 管理に関する優良事例を普及させ、具体的な協力活動を支援するために、パートナー国や関係イニシアティブ、本アライアンスの目的と一致する目的を持つ国際機関や地域機関との連携を模索する。

本アライアンスは、MPA の管理の有効性を強化するための進捗を定期的に見直し、課題を特定する。本アライアンスの活動を進め、海洋保全と持続可能な利用に対する我々の国家的・国際的なコミットメント、及び我々の共同責任との整合性を確保するために、2026 年末までに必要に応じて戦略的指針の策定に取り組む。

